### 様式O(第15条関係)

# 循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
柏市	柏市	平成31年度~令和5年度	平成31年度~令和5年度

# 1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指標		現状(割合※1)	目標(割合※1)	実績(割合※1)	実績 B/目
		(平成29年度)	(令和6年度) A	(令和6年度) B	標A ※ 2
排出量	事業系 総排出量	36, 170t	36,970t (+2.2%)	35, 366t (-2.2%)	-100.0%
	1事業所当たりの排出量	3.35t/事業者	3.14t/事業者 (-6.3%)	3.36t ( 0.3%)	-4.8%
	生活系 総排出量	80, 962t	78, 387t (-3. 2%)	77, 333t ( -4.5%)	140.6%
	1人当たりの排出量	223. 1㎏/人	206.4kg/人 (-7.5%)	201.2kg/人(-9.8%)	130. 7%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	117, 132t	115, 357t (-1.5%)	112,699t (-3.8%)	253. 3%
再生利用量	直接資源化量	32. 0t ( 0. 03%)	28.82t (0.02%)	163.3t ( 0.1%)	-700.0%
	総資源化量	24, 214t (20.7%)	28, 517t (24. 7%)	21, 277t (18.9%)	-45.0%
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及	18,897Mh	16,654MWh	21,604Mh	
	び熱利用量)	194, 355GJ	169, 452GJ	199, 532GJ	
減量化量	中間処理による減量化量	81, 558t (69.6%)	76, 711t (66. 5%)	81, 152t (72.0%)	108. 3%
最終処分量	埋立最終処分量	11, 360t ( 9. 7%)	10, 129t (8.8%)	10, 250t ( 9. 1%)	65. 7%

<sup>※1</sup> 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

<sup>※2</sup> 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

# 2 各施策の実施状況

施策種別	事業	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間	施策の実績
	番号				(事業計画期間)	
発生抑制	1 1	啓発事業の推進	柏市	ごみ減量広報紙を発行すると	平成31年度~	ごみ減量広報紙を発行した他,
、再使用				とも市ホームページによる啓	令和5年度	市ホームページ, SNSを通じて
の推進に				発、転入者に対する啓発を行		啓発を行った。
関するも				う。		
0	1 2	環境学習の推進	柏市	小中学生を対象とした環境学	平成31年度~	令和元年度,5年度に市内小学
				習の強化を図るとともにリサ	令和5年度	校を対象に出前授業を実施。
				イクルプラザで講座を開催す		なお、2~4年度については、新
				る。		型コロナウイルス感染拡大防止
						のため実施せず。
	1 3	食品ロス削減の推進	柏市	家庭や飲食店における食品の	平成31年度~	市公式SNSを使い、食品ロス削
				使いきりや食べきりを促進す	令和5年度	減を啓発した。
				る取り組みを推進する。		
	1 4	生ごみの減量の推進	柏市	生ごみ処理容器等購入費補助	平成31年度~	可燃ごみの減容化のため、生ご
				制度を継続する。	令和5年度	み処理容器等購入費補助制度を
						継続した。
	1 5	生活系ごみ有料化の	柏市	指定袋制の生活ごみの有料化	平成31年度~	新型コロナウイルスによる市民
		検討		を検討する。	令和5年度	生活への影響を考慮し, 改定を
						保留している。
	1 6	3R推進事業所・3	柏市	3 R推進事業所・3 R推進店	平成31年度~	3 R推進事業所・3 R推進店推
		R推進店推奨制度の		推奨制度のアピールと登録事	令和5年度	奨制度のアピールと登録事業者

		拡大		業者を市ホームページ等へ掲		を市ホームページ等へ掲載した
				載してPRする。		0
	1 7	事業系ごみ減量チラ	柏市	事業系ごみの減量チラシを作	平成31年度~	事業系ごみ減量チラシを作成し
		シの作成・運用		成し、無理なくごみ減量がで	令和5年度	, 市ホームページに掲載した他
				きる取り組みを紹介する。		,一部事業者に配布した。
	1 8	多量排出事業所への	柏市	事業系一般廃棄物減量計画書	平成31年度~	事業系一般廃棄物減量計画書の
		指導強化		の提出を求めるとともに直接	令和5年度	提出を求めた他、直接訪問指導
				訪問指導を行う。		を29店舗行った。
	1 9	再利用品の販売・情	柏市	粗大ごみとして出された家具	平成31年度~	リボン館においてリサイクル家
		報提供		等の修理、展示・販売を継続	令和5年度	具の展示, 販売を継続した。
				する。		
	2 0	指定ごみ袋による分	柏市	指定ごみ袋制度を継続すると	平成31年度~	指定ごみ袋について、柏地域・
		別徹底・資源化の推		ともに、分かりにくい品目や	令和5年度	沼南地域で分かれていた袋を統
		進		排出方法の間違いの多い品目		ーした。
				の情報を周知。		
処理施設	1	柏市リサイクルプラ	柏市	基幹的設備改良により, リサ	平成31年度~	令和元年度から令和3年度の3ヶ
の整備に		ザ基幹的設備改良事		イクルプラザを延命化し温室	令和3年度	年で基幹的設備改良工事を実施
関するも		業		効果ガスの排出を抑制する。		した。
0	2	柏市北部クリーンセ	柏市	基幹的設備改良により,柏市	令和5年度	令和5年度から令和8年度の4ヵ
		ンター基幹的設備改		清掃工場を延命化し温室効果		年で基幹的設備改良工事を実施
		良事業		ガスの排出を抑制する。		している。
	3	柏市北部クリーンセ	柏市	基幹的設備改良により, 柏市	令和5年度	令和5年度から令和8年度の4ヵ
		ンター基幹的設備改		清掃工場粗大ごみ処理施設を		年で基幹的設備改良工事を実施

		良事業		延命化し温室効果ガスの排出 を抑制する。		している。
施設整備	3 1	柏市リサイクルプラ	柏市	1の事業の実施のため, LED化	平成31年度	リサイクルプラザ基幹的設備改
に係る計		ザ基幹的設備改良事		   や建築設備更新のための建築		良工事に建築改修設計を実施し
画支援に		業(事業番号1)に		  設計を行う。		た。
関するも		係る建築改修設計事				
0		業				
	3 2	柏市北部クリーンセ	柏市	2,3の事業の実施のため北部	令和2年度	北部クリーンセンターの長寿命
		ンター基幹的設備改		クリーンセンターの長寿命化		化総合計画の策定を行った。
		良事業(事業番号2		総合計画を策定するもの。		
		,3)に係る長寿命				
		化総合計画策定支援				
		事業				
	3 3	柏市北部クリーンセ	柏市	2,3の事業の実施のため,PFI	令和3年度~	令和3年度から令和5年度の3ヶ
		ンター基幹的設備改		等導入可能性調査,延命化工	令和5年度	年で北部クリーンセンター基幹
		良事業(事業番号2		事に係る発注仕様書作成並び		的設備改良工事に係る施設整備
		, 3) に係る施設整		に、基幹的設備改良工事及び		に関する計画支援事業に関する
		備に関する計画支援		長期包括運営委託業務に係る		業務委託を実施した。
		事業		事業者選定業務を行うもの。		
その他	4 1	環境物品への転換	柏市	環境負荷の少ない製品に関す	平成31年度~	リボン館における食器を含むリ
				る情報を提供する。リユース	令和5年度	ユース品の販売を継続した。
				食器は、市主催のイベント等		
				で活用を推進する。		

対価の確保 な負担の軽減を図ることを目	_						
前に各種リサイクル法の処理 ルートを原則として、古紙や 金属類等の売却を継続する。 4 3 容器包装プラスチッ		4 2	資源化に対する適正	柏市	適正な資源化の推進や財政的	平成31年度~	資源品について, 引き続き各種
ルートを原則として、古紙や 金属類等の売却を継続する。  4 3 容器包装プラスチッ 柏市			対価の確保		な負担の軽減を図ることを目	令和5年度	リサイクル法の処理ルートを原
金属類等の売却を継続する。					的に各種リサイクル法の処理		則として売却を継続した。
4 3 容器包装プラスチッ 柏市 分別方法の広報を行い、適正 平成31年度~					ルートを原則として、古紙や		
#出を促進するとともに、容 器包装リサイクル協会を通じ ての資源化を継続。 会を通じての資源化を継続。 と共に、製品プラスチックのリサイクルについても研究を行った。 4 4 紙ごみの資源化 柏市 ざつ紙等の資源化可能な紙類 平成31年度~ 市広報紙や市ホームページ、S を通じ、雑紙の再資源化の間知広報を継続した。 Sを通じ、雑紙の再資源化の間知広報を継続した。 が可燃ごみに混入して排出されないよう,分別区分や排出方法等の広報を行う。 4 5 食品廃棄物等の資源 柏市 排出事業者による食品リサイクル法に基づく食品廃棄物等の資源化の取り組みを支援する給食残渣の資源化を続けた。 る給食残渣の資源化を続けた。 る給食残渣の資源化を続けた。 なが重ないて 個広い周知を行い、回収量の 中加に努める。 4 7 焼却灰の資源化 柏市 放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和5年度 家電回収ボックスでの収集を組織した。 か別能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再					金属類等の売却を継続する。		
器包装リサイクル協会を通じ ての資源化を継続。  4 4 紙ごみの資源化 柏市  ざつ紙等の資源化可能な紙類 が可燃ごみに混入して排出されないよう。分別区分や排出 方法等の広報を行う。 4 5 食品廃棄物等の資源 柏市 排出事業者による食品リサイクル法に基づく食品廃棄物等 の資源化の取り組みを支援する給食残渣の資源化を続けた。  4 6 小型家電リサイクル 柏市 小型家電の回収事業について の推進  「中内公共施設に設置された小型 「中内公共施設に設置された小型 「中内公共施設に設置された小型 「中内公共施設に設置された小型 「中内公共施設に設置された小型 「中方公共施設に設置された小型 「中方公共施設」」「中方公共施設」「中方公共施設」「中方公共施設」」「中方公共施設」「中方公共施設」「中方公共施設」」「中方公共施設」「中方公共施設」」「中方公共施設」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」「中方公共施設」」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共施設」」「中方公共		4 3	容器包装プラスチッ	柏市	分別方法の広報を行い、適正	平成31年度~	引き続き容器包装リサイクル協
			ク類の資源化		排出を促進するとともに,容	令和5年度	会を通じての資源化を継続する
た。					器包装リサイクル協会を通じ		と共に、製品プラスチックのリ
4 4 紙ごみの資源化 柏市 ざつ紙等の資源化可能な紙類 平成31年度~ 市広報紙や市ホームページ、S を通じ、雑紙の再資源化の周れないよう、分別区分や排出 方法等の広報を行う。 4 5 食品廃棄物等の資源 柏市 排出事業者による食品リサイ クル法に基づく食品廃棄物等 の資源化の取り組みを支援す を通じ、市内小学校から発生する給食残渣の資源化を続けた。 る。 4 6 小型家電リサイクル 柏市 小型家電の回収事業について 幅広い周知を行い、回収量の 増加に努める。 4 7 焼却灰の資源化 柏市 放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再					ての資源化を継続。		サイクルについても研究を行っ
が可燃ごみに混入して排出さ							た。
れないよう、分別区分や排出 方法等の広報を行う。  4 5 食品廃棄物等の資源 柏市 排出事業者による食品リサイ 平成31年度~ ドリームフラワープロジェクト 化 クル法に基づく食品廃棄物等 令和5年度 を通じ、市内小学校から発生する給食残渣の資源化を続けた。 る。  4 6 小型家電リサイクル 柏市 小型家電の回収事業について 呼成31年度~ 市内公共施設に設置された小型 幅広い周知を行い、回収量の 令和5年度 家電回収ボックスでの収集を組 増加に努める。  4 7 焼却灰の資源化 柏市 放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再		4 4	紙ごみの資源化	柏市	ざつ紙等の資源化可能な紙類	平成31年度~	市広報紙や市ホームページ, SN
方法等の広報を行う。					が可燃ごみに混入して排出さ	令和5年度	Sを通じ、雑紙の再資源化の周
45 食品廃棄物等の資源 柏市       排出事業者による食品リサイ クル法に基づく食品廃棄物等 ク和5年度       ドリームフラワープロジェクト を通じ、市内小学校から発生する給食残渣の資源化を続けた。         46 小型家電リサイクル の推進       柏市 小型家電の回収事業について 幅広い周知を行い、回収量の 増加に努める。       平成31年度~ 市内公共施設に設置された小型 家電回収ボックスでの収集を経境がある。         47 焼却灰の資源化 柏市       放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再					れないよう、分別区分や排出		知広報を継続した。
化       クル法に基づく食品廃棄物等の資源化の取り組みを支援する給食残渣の資源化を続けた。         る。       本種家電リサイクルの推進       ・小型家電の回収事業について幅広い周知を行い、回収量の増加に努める。       中和5年度       市内公共施設に設置された小型家電回収ボックスでの収集を経過した。         47 焼却灰の資源化       柏市       放射能が十分に低下した場合       平成31年度~中成31年度~中和2年度より焼却灰の一部再					方法等の広報を行う。		
の資源化の取り組みを支援する給食残渣の資源化を続けた。る。  4 6 小型家電リサイクル 柏市		4 5	食品廃棄物等の資源	柏市	排出事業者による食品リサイ	平成31年度~	ドリームフラワープロジェクト
る。 4 6 小型家電リサイクル 柏市			化		クル法に基づく食品廃棄物等	令和5年度	を通じ、市内小学校から発生す
46       小型家電リサイクル 柏市       小型家電の回収事業について 幅広い周知を行い、回収量の 令和5年度 家電回収ボックスでの収集を組 増加に努める。       市内公共施設に設置された小型 家電回収ボックスでの収集を組 続した。         47       焼却灰の資源化       柏市       放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再					の資源化の取り組みを支援す		る給食残渣の資源化を続けた。
の推進       幅広い周知を行い、回収量の 増加に努める。       令和5年度 家電回収ボックスでの収集を組続した。         47 焼却灰の資源化       柏市       放射能が十分に低下した場合 平成31年度~       令和2年度より焼却灰の一部再					る。		
増加に努める。     続した。       47 焼却灰の資源化     柏市     放射能が十分に低下した場合     平成31年度~     令和2年度より焼却灰の一部再		4 6	小型家電リサイクル	柏市	小型家電の回収事業について	平成31年度~	市内公共施設に設置された小型
4 7 焼却灰の資源化 柏市 放射能が十分に低下した場合 平成31年度~ 令和2年度より焼却灰の一部再			の推進		幅広い周知を行い、 回収量の	令和5年度	家電回収ボックスでの収集を継
					増加に努める。		続した。
の将来の焼却灰の資源化の再 令和5年度 資源化を実施した。		4 7	焼却灰の資源化	柏市	放射能が十分に低下した場合	平成31年度~	令和2年度より焼却灰の一部再
					の将来の焼却灰の資源化の再	令和5年度	資源化を実施した。

			1		1	
				開を目指し検討を行う。		
3 事業実施	による	6二酸化炭素削減効果	について			
(1)削減量	(実統	責)				
【事業番号	1: 框	市リサイクルプラザ	基幹的設備改良事業			
・二酸化炭	素の肖	引減量23.89%(目標値)	は20.15%以上)			
・同上算定	方法 :	1)基幹改良事業施工前	方の稼働実績(平成3	0年度7月中旬)を基準量として同	別左事業施工後の稼働	動実績(令和3年度7月中旬)と
		を比較し算出				
	4	2)算定式は「廃棄物処	L理施設の基幹的設備	前改良マニュアル 第Ⅲ編 第 2 章	章 2.3 基幹改良 CC	02 削減率」を使用
【事業番号	2: 村	自市北部クリーンセン	ター基幹的設備改良	上事業】		
・二酸化炭	素の肖	川減量については、令	和8年に基幹的設備	前改良工事が完了予定であり、工	事中のため,現在(	CO2削減量の測定は未実施であ
る。						
(2) 削減量	に達し	しなかった場合の原因				

#### 4 目標の達成状況に関する評価

排出量については、事業系総排出量及び生活系総排出量は目標を達成することができた。ただし、1事業所当たりの排出量とした場合、生活系総排出量では目標を達成することができたが、事業系総排出量では目標を達成することができなかった。ごみの減量は成功しているので、事業者数の減少が進んでいると考えられる。

再生利用量については、直接資源化量は目標を達成することができたが、総資源化量は目標を達成することができなかった。これはPE Tボトルを除き、プラスチック、古紙類、紙パック類、古着・古布類、空ビン類、空カン類、金属類といった資源化を実施しているごみの搬入量及び処理量が減少したためである。

エネルギー回収量については、年間の発電電力量及び年間の熱利用量は目標を達成することができた。

減量化量については、目標を達成することができた。

最終処分量については、目標を達成することができなかった。平成29年度と比較すると、北部クリーンセンター(固化灰・不燃残渣)においても南部クリーンセンター(飛灰固化物及び主灰)においても数値は減少傾向にあるが、目標には届かなかった。中間処理の減量化量、最終処分量の極少化に向け、今後も取り組みを継続していく。

なお、目標が達成できなかった要因及び目標達成に向けた方策について循環型社会形成推進地域計画改善計画書を作成する。

#### (都道府県の所見)

排出量について、事業系総排出量、生活系総排出量、1人当たりの排出量及び事業系生活系排出量合計は現状より実績は減少しており、目標を 達成できているが、1事業所当たりの排出量は現状より実績は増加しており、目標を達成できていない。

再生利用量については、直接資源化量は現状より実績は大きく増加しており、目標を達成できているが、総資源化量は現状より実績は減少しており、目標は達成できていない。

エネルギー回収量については、現状より実績は増加しており、目標を達成できている。

減量化については、目標を達成することができている。

最終処分量について、現状より実績は減少しているものの目標は達成できていない。

今後は改善計画書に基づき、目標達成に向けた方策を適切に実行し、1事業所当たりの排出量、最終処分量の減少及び総資源化量の増加に努めら

れたい。

### ( 技管協の所見 )

施策種別:処理施設の整備に関するもの

事業番号:2

施策の名称等:柏市北部クリーンセンター基幹的設備改良事業

柏市は環境大臣の承認を受けた循環型社会形成推進地域計画等に基づくエネルギー回収型廃棄物処理施設の改良に関する事業として、廃棄物処理施設技術管理協会からの補助金を受けて事業を進めている。改良事業は地域計画に設定したとおり順調に進捗しており、完了予定は令和8年度である。想定した事業効果を発揮できるよう、確実に事業を進めていただきたい。